

主義 信條 本紙は本社の私利にあらざるに、社会公共の公的言論機關也、常に紙面を開放して何人の爲めにも、其利益を主眼とす、

齋城之實業

本紙は本社の私利にあらざるに、社会公共の公的言論機關也、常に紙面を開放して何人の爲めにも、其利益を主眼とす、

自我の伸展と 自己省察と 與平生

自我の伸展とは、生活に對し眞面目な態度で奮勵するに在りて、自己の皮相を見て其の欠点を改良せしむること也、

自己省察とは、過去の生活の経過を回顧し、其の善惡を考へ、今後の爲めに奮勵するに在りて、

一人一信 阿村水田中山君可氏は昨今別居の噂を聞き、

不埒至極の銀行業者

斯くして財界を攪亂し 金融界を脅威し惡影響を與ふ 銀行業者の不正な振舞ひは、社会の秩序を亂し、

熱々情味の 河北支局長論

河北支局長の熱々情味は、社会に多大の影響を與へ、



支局長としての君の抱負は、社会の繁栄を期すに在りて、

道に於ける

神道は人の徳を教化するものなり、其の代り無常萬變の世に於て、

道に於ける 人の徳を教化するものなり、其の代り無常萬變の世に於て、

道に於ける 人の徳を教化するものなり、其の代り無常萬變の世に於て、

道に於ける 人の徳を教化するものなり、其の代り無常萬變の世に於て、

只の目に何石山の秋の月

本月四日五日六日東京朝日、福島民友、いはらきの各新聞中に現はれたる平水道と大瀧發電所問題記事

縣議木村清治君の態度

特に朝日紙上の記事をして事實に非らずんば三萬の平町民に釋明を要す

大瀧發電所問題

大瀧發電所問題は三萬の平町民の生死を左右する重要な問題である。朝日新聞の報道は、事實を正確に伝えているが、三萬の町民は、この問題について十分な知識を持っていない。本稿は、この問題の経緯と、縣議木村清治君の態度について詳しく説明する。

愛谷堰問題に於て

愛谷堰問題は、地方の福利増進に一大損害を及ぼす恐れがある。本稿は、この問題の現状と、解決の方向性について詳しく説明する。

新聞を讀む人の爲めに

新聞は、社会の発展と進歩に不可欠なものである。本稿は、新聞を効果的に読むための方法と、読者の責任について詳しく説明する。

全國第一位の良業績を占むセメント界の覇者 磐城洋灰會社の資産状態と其内容

以上の營業成績 磐城洋灰會社は、過去数年間にわたって、驚異的な成長を遂げ、セメント業界のリーダーとして君臨している。

東北の貯貯高 六千四百二十二萬圓 東北地方の貯貯高は、前年を大幅に上回り、経済の好況を示している。

本縣内に於て日本銀行は 幾つあるか 本縣内に於て日本銀行の支店が幾つあるか、その詳細な状況を調査した。

本縣内に於て日本銀行は 幾つあるか (続) 本縣内に於て日本銀行の支店が幾つあるか、その詳細な状況を調査した。

大體の粉砕は新事... 磐城の粉砕は新事... 磐城の粉砕は新事... 磐城の粉砕は新事...

セメント界の覇者

磐城洋灰會社の資産状態と其内容

全國第一位の良業績を占む
一昨年の大震災直後復興工... 磐城洋灰會社の最近業... 磐城洋灰會社の最近業... 磐城洋灰會社の最近業...

項目	金額
資本金	1,000,000
利益剰余金	2,500,000
準備金	1,500,000
負債	3,000,000

磐城の一割四
分八厘が最良の成績... 磐城の一割四... 磐城の一割四... 磐城の一割四...

平新電話の變更
平新電話の變更... 平新電話の變更... 平新電話の變更... 平新電話の變更...

無責任杜撰の
平町入札規定
無責任杜撰の... 平町入札規定... 無責任杜撰の... 平町入札規定...

以上各社の最近業
以上各社の最近業... 以上各社の最近業... 以上各社の最近業...

東北の郵貯高
東北の郵貯高... 東北の郵貯高... 東北の郵貯高...

十銭瀨戸屋の内幕
十銭瀨戸屋の内幕... 十銭瀨戸屋の内幕... 十銭瀨戸屋の内幕...

平業界に一人
高野洋器店
平業界に一人... 高野洋器店... 平業界に一人... 高野洋器店...

愉快
開業
愉快... 開業... 愉快... 開業...

不潔の平町
不潔の平町... 不潔の平町... 不潔の平町...

乗合自動車の稼高
乗合自動車の稼高... 乗合自動車の稼高... 乗合自動車の稼高...

オチラ
オチラ... オチラ... オチラ...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

一厘五厘
一厘五厘... 一厘五厘... 一厘五厘...

祝 磐 城 之 實 業 展 發

- 株式會社 磐城銀行 電話三三、一五四番
- 株式會社 平銀行 電話三〇、六四三番
- 株式會社 磐東銀行 電話三三三番
- 株式會社 磐城實業銀行 電話一二四番
- 株式會社 四倉銀行 電話四七番
- 株式會社 磐越銀行 電話二〇五番
- 株式會社 福島縣農工銀行 支店 電話三六八番
- 株式會社 第七十七銀行 支店 電話四一四番
- 株式會社 磯原銀行 出張所 電話六五番

の紙本
主義
信條

本紙は本社の私有にあらず、社会共有の公的言論機關也。常に紙面を開放して何人の爲めにも、其利用を快諾し、特に主として實業界の機關となり、努力を益を主眼とす。本紙は絶対不可侵の權威を以て論議公正にして、愚劣無價値の記事を採らざりし。本紙の使命也。

祝磐城之實業社の發展

福島縣平町字田町 (電話三六五番)

千葉彦治法律事務所
同簡易整理部

祝磐城之實業社の發展

仙臺市東一番丁 (電話一五九五番)

草薙勝衛法律事務所
赤城 茂
民刑事 辯護士 草刈 勝 衛
控訴専門 辯護士 赤城 茂

祝 大 展 張

石炭 花崗石 採掘販賣
赤煉瓦 耐火煉瓦 販賣

福島縣石城郡赤井村大字畑子澤
鑛業所
川瀨炭礦常磐鑛業所
福島縣平町三丁目廿一番地

川瀨炭礦販賣所
川瀨 貞治

材料は安く、能率の上る、頼んで徳、
請けて樂な建物のためになる。

建築の絶好季！
機會は来る！

◎一戸十五坪以内の住宅本年内十
戸に限り建築費三分の二迄三ヶ年
月賦金融
◎家賃の大差無き掛金にて三年間
に自分の家となる
毎月其家の東端。から。三十六分の
一宛。あなた。の物。になつて行くのです
平町五丁目

磐城建物株式會社
電話五一八番

建築用として
石垣用として
輕便格安にして最も理相的なる
中山岩 大勉強に販賣致します

須藤中山岩販賣所
平町七丁目

本紙は本社の私有にあらず、社会共有の公的言論機關也。常に紙面を開放して何人の爲めにも、其利用を快諾し、特に主として實業界の機關となり、努力を益を主眼とす。本紙は絶対不可侵の權威を以て論議公正にして、愚劣無價値の記事を採らざりし。本紙の使命也。